
令和6年度地域のための 防災・減災訓練

避難者・傷病者役ボランティア の皆さまへ



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社愛知県支部
救護・講習課 川上 慎一

20241016ver 1

「地域のための防災・減災訓練」とは

○地域の医療や防災関係者との連携・協働による
医療救護実働訓練

○地域住民の自助・共助力向上の取り組み（啓発）



地域における
自助・共助・公助を高める総合訓練

※今年度は啓発部門のイベントは実施
せず、医療救護実働訓練のみ実施

1. 訓練の概要

【参考】過去及び今回の訓練

年度	訓練会場	日付	災害想定	参加医療機関等 (医療救護実働訓練)	備考
平成28年度	春日井市 春日井市総合体育館	11/9	地震想定 (発災直後)	春日井市民病院DMAT 春日井市消防 等	赤十字単独
平成29年度	弥富市 弥富市南部コミュニ ティーセンター	9/10	地震想定 (発災後48時間後)	海南病院DMAT	弥富市防災訓練と 連携
平成30年度	半田市 青山記念武道館	9/15	地震想定 (発災後72時間後)	半田市立半田病院DMAT	赤十字単独
令和元年度	安城市 市役所、安城更生HP、 中学校	10/5	地震想定 (発生直後)	安城更生病院DMAT 安城市医師会	安城市防災訓練と 連携
令和2年度から 令和4年度	新型コロナウイルス対応のため、訓練中止				
令和5年度	田原市 亀山小学校	10/21	地震想定 (発災後72時間後)	他の医療機関の参加なし	赤十字単独
令和6年度	日本赤十字豊田看護 大学	10/27	水害想定 (発災後48時間後)	愛知医科大学病院 藤田医科大学病院 豊田厚生病院 トヨタ記念病院	赤十字単独

1. 訓練の概要

○参加機関

(1) 赤十字関係

日本赤十字社愛知県支部

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院

日本赤十字豊田看護大学

日本赤十字社愛知県支部豊田市地区(豊田市赤十字奉仕団)

三河赤十字救急奉仕団

尾張赤十字救急奉仕団

愛知県赤十字無線奉仕団

愛知県青年赤十字奉仕団

青少年赤十加盟校(愛知県立豊田東高等学校)

愛知県赤十字災害救護奉仕団

避難者・傷病者役
約80名

訓練全般サポート

(2) 関係医療機関(訓練プレイヤー)

豊田市保健所

愛知医科大学、藤田医科大学

JA 愛知厚生連豊田厚生病院

トヨタ記念病院

他見学団体有
全体で約180名

1. 訓練の概要

訓練イメージ(※過去に豊田看護大学を会場に実施した訓練の写真です)



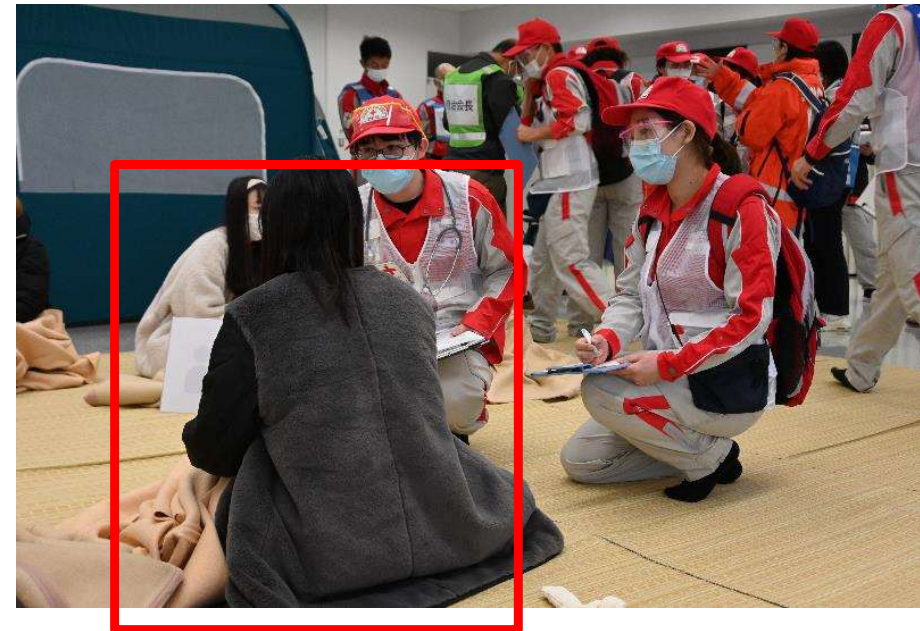
1. 訓練の概要

訓練イメージ(※過去に豊田看護大学を会場に実施した訓練の写真です)



1. 訓練の概要

訓練イメージ(※過去に豊田看護大学を会場に実施した訓練の写真です)



今回の訓練で避難者・傷病者役を担っていただくのが、ボランティアの皆さまです。

2. 訓練スケジュール

8:45まで 避難者・傷病者役ボランティア 大講義室 集合

→各仮想避難所に分かれて、避難所リーダーと
ミーティング

9:00 豊田市調整本部訓練開始

9:30頃 医療チーム 市調整本部到着

9:45～11:45頃 実働訓練

※避難者・傷病者役ボランティアの皆さんは実働訓練終了後、簡単にその場を片付けて、解散となります。

【参考】

12:00～12:30 デモミーティング

12:30～13:30 休憩

13:30～14:30 振り返り・終了

～16:00 片付け・撤収

3. 訓練当日の避難者・傷病者役ボランティアの役割

- 8:45～大講義室に集合ののち、各避難所に分かれて、避難所リーダーとミーティングします。
- 各避難所では各個人に想定内容を被災者カードにして配付するので、9:45～の実働訓練では配付された被災者カードに基づいて受け答えしていただきます。(氏名、性別、年齢は自身と異なります。役作りが重要です。)
- 複数人の家族を代表している避難者は、家族人数のイラストが描かれたカードを掲げながら対応します。
- 被災者カードを参考に、ご自身のイメージで自然な形で演じていただきます。
- カードに記載がない状況は、アドリブでご対応ください。
(→カードに記載されている内容と異なったアドリブをした場合は、そのままアドリブを優先させてください。)
- 救護班からの質問や提案、申し出などがあったときは、ご自身の考えで判断して応対ください。
- 医療的な情報で受け答えに困ったときは、「模擬患者指導」のスタッフがお手伝いします。

3. 訓練当日の避難者・傷病者役ボランティアの役割

本名

避難所名	B				
管理番号	B01	氏名	日赤 太郎		

ふりがな	さとう かずこ	生年月日	1935/07/09		
氏 名	佐藤 和子	性別	女	年齢	88
住 所	豊田市昭和町1丁目 10-3				
電 話	0565-15-0113				
家 族	一人暮らし				
既往歴	特になし				
常用薬	特になし				
状 況	軽い息切れ 昔段から一人暮らし。最近、朝方になると息が苦しいような感じがする。少し太ったような気がする。				

(表)

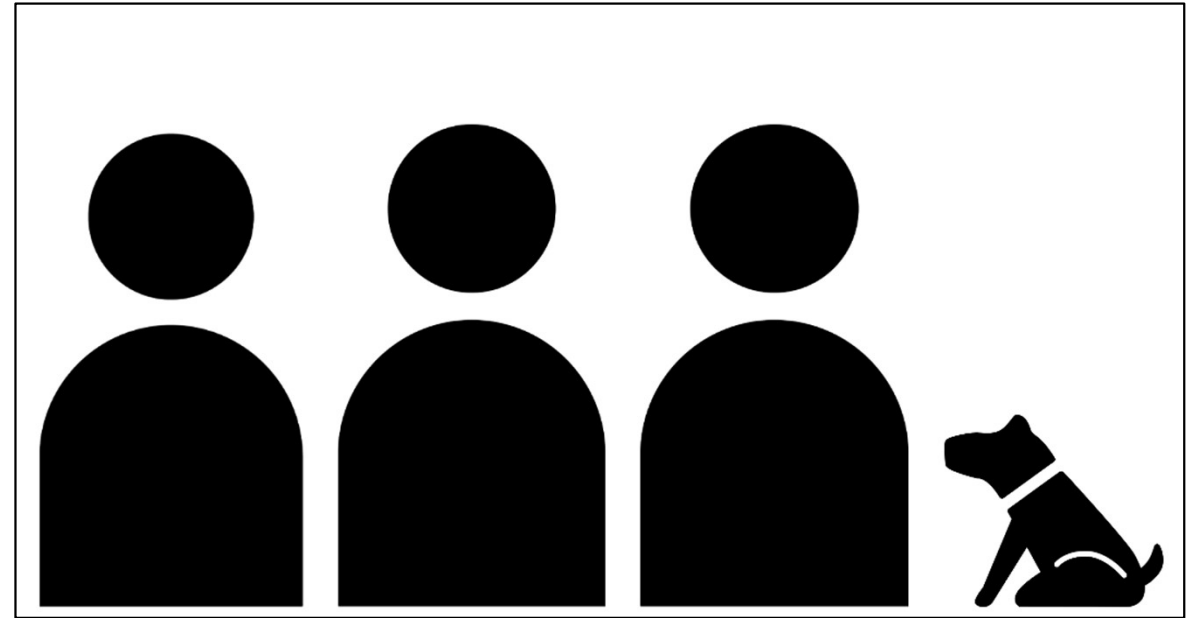
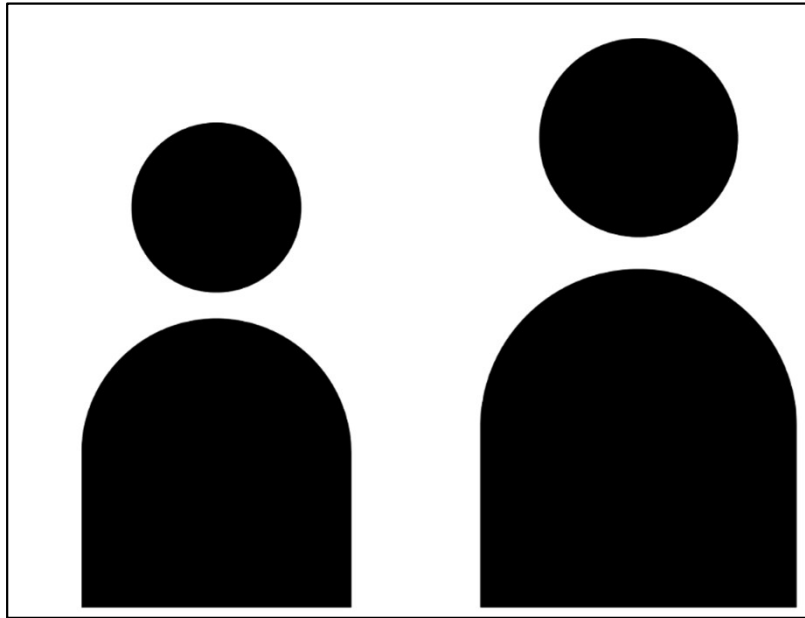
想定
(役作りする内容)

(裏)

所 見	意 識	清明
	血圧(mmHg)	170/80
	脈拍(/分)	66
	呼吸(/分)	16
	体温(℃)	35.6
	SpO2	92
	血糖値 Dx(mg/dl)	ND
	理学所見	両側の呼吸音にラ音を認める。下肢に浮腫を認め、両下腿前面に圧迫痕が残る。
	モニタ	ST 陰転化
	超音波検査	心肥大、心嚢液の貯留を認める。壁の動きは悪くない。
その他		
想定される初診時診断		高血圧、うっ血性心不全

被災者カード(見本)

3. 訓練当日の避難者・傷病者役ボランティアの役割



家族カード(見本)
※該当者のみ

【参考】訓練想定における豊田市の状況

- 豊田市は、10/26(土)の大雨洪水警報が発令された時点から災害対策本部を開設し、市民の生命を守るための活動を優先的に実施してきた。
- 豊田市には、10/26(土)の午後から警戒レベル4の避難指示が全域に発令され、市内に避難所が開設された。
- 豊田市内の医療機関については、災害拠点病院である豊田厚生病院、トヨタ記念病院は被災を免れたため、患者の受け入れを行っている。(他の医療機関の被災状況は不明であるが、患者を受け入れは不可の模様)
- 矢作川に籠川が合流する豊田市東梅坪町5丁目付近で矢作川西側堤防が決壊
- 矢作川の決壊に伴う浸水被害が発生した地域の避難所には多数の避難者が押し寄せている。
特に、崇化館地区、梅坪台地区、上水地区、朝日丘地区、高橋地区、美里地区、豊南地区、猿投台地区では、多数の避難者が避難所にいると思われるが、避難所の医療ニーズのアセスメントはこれから。

【参考】実動訓練の患者等対応における留意事項として 医療チームに伝達している内容

(1) 衣服

本訓練では、模擬患者のメイクは実施しません。衣服は着用したまま診察、治療等を行ってください。衣服を切断、汚損、脱衣等を行わないでください。

(2) バイタルサイン

脈、呼吸回数、血圧、SPO2は実際に測定してください。

ただし、バイタルの数値は傷病者または避難者から直接得て、カルテ等に記録してください。

(3) 触診

・四肢・頭部への触診は実際の診察行動と同様に実施してください。ただし、模擬患者の大体上部・股関節部・胸腹部には触れないようにしてください。

・体幹部の診察等については、模擬患者が腹部や腰部の症状を訴えている場合は、当該部位の触診を行ってください。

・心音、呼吸音などの聴診は、服の上から行ってください。

【参考】実動訓練の患者等対応における留意事項として 医療チームに伝達している内容

(4) 意識レベル

- ・見当識障害の確認は、通常の診察と同様に行ってください。
- ・声をかけるときに軽くたたいたり、身体を揺さぶったりなどは通常の診察と同様に行ってください。
- ・痛覚刺激は、刺激を与える部位に触れて、「痛み刺激はありますか？」と模擬患者に問いかけてください。

(5) その他理学所見

- ・評価項目を告げると、模擬患者もしくは訓練スタッフ(神声)から評価内容が告げられます。

(6) 安定化処置

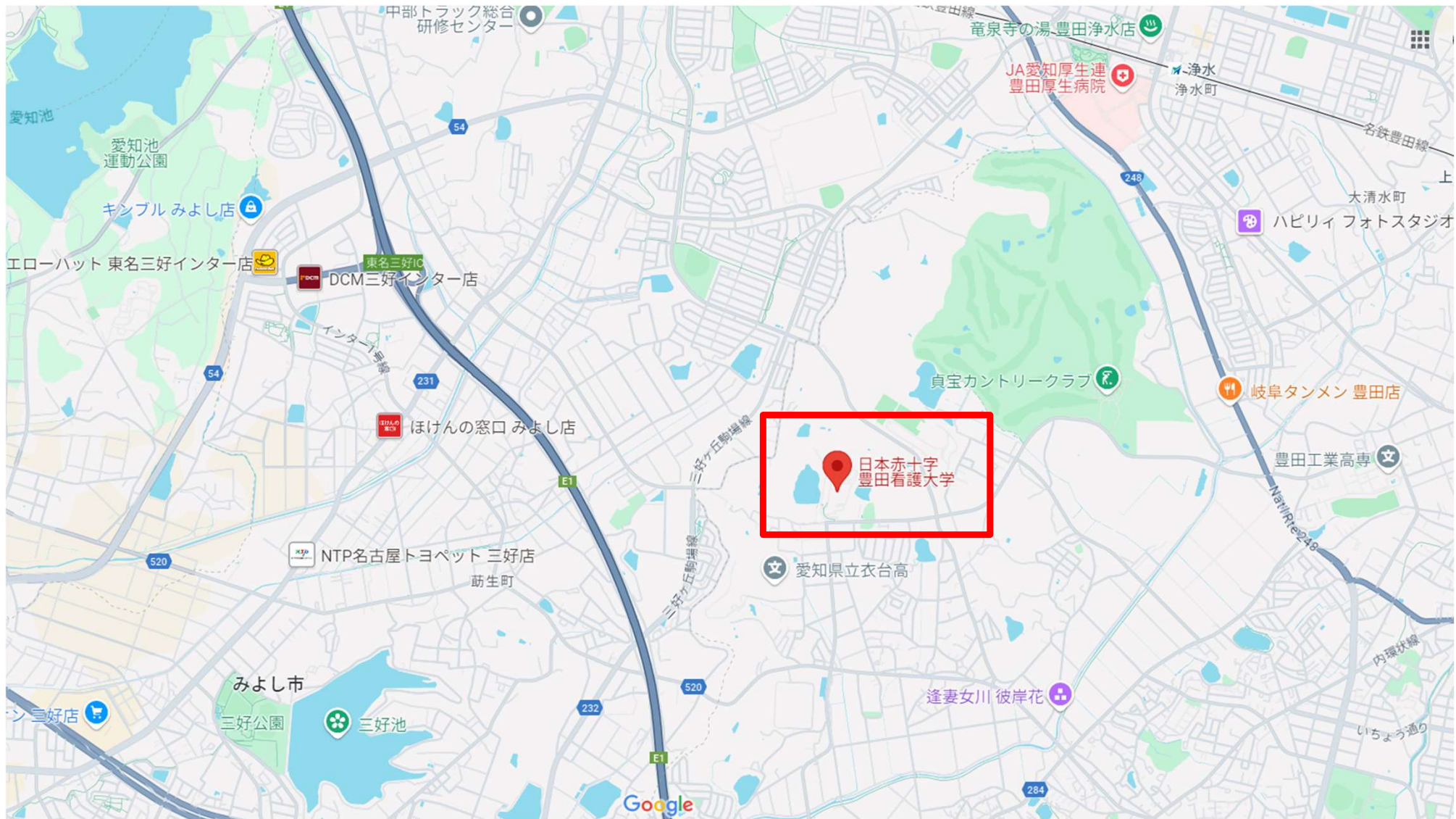
処置に必要な医療資材を傷病者等の横に並べ、何を行うのかを宣言してください。(針や滅菌物、点滴等を開封する必要はありません。)

【参考】実動訓練の患者等対応における留意事項として 医療チームに伝達している内容

(7) 緊急時対応

模擬患者等が訓練中に体調不良等になった場合は、「**本当に**」をつけて申し出ます。模擬患者等が「**本当に**」をつけて発言した場合は、訓練スタッフに連絡してください。

4. 訓練会場について

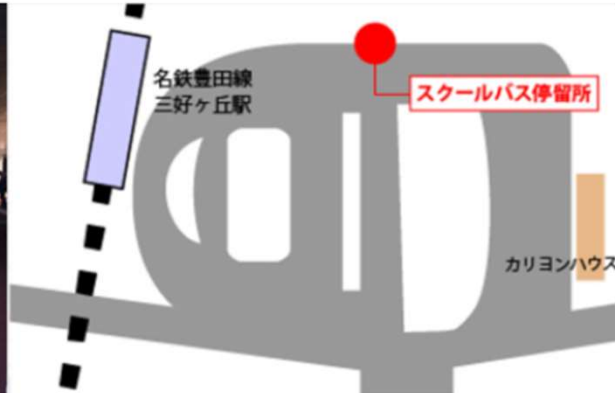


日本赤十字豊田看護大学
(愛知県豊田市白山町七曲12-33)

4. 訓練会場について(公共交通機関でお越しになる方へ)

三好ヶ丘駅バス停留所

スクールバス停留所は三好ヶ丘駅より徒歩2分。



訓練当日は三好ヶ丘駅バス停留所、新豊田駅バス停留所から臨時でスクールバスを運行します。
※出発時間は同じです。

【行き】

停留所 8:15発
→ 大学 8:30着

新豊田駅バス停留所

スクールバス停留所は愛知環状鉄道/新豊田駅より徒歩2分、名古屋鉄道/豊田市駅より徒歩5分



【帰り】

大学 12:30発
→ 停留所 12:45着

※バスの乗車受付は行いません。時刻になったら出発します。

4. 訓練会場について(車でお越しになる方へ)

お車でお越しの方はこちらの駐車場をご利用ください。

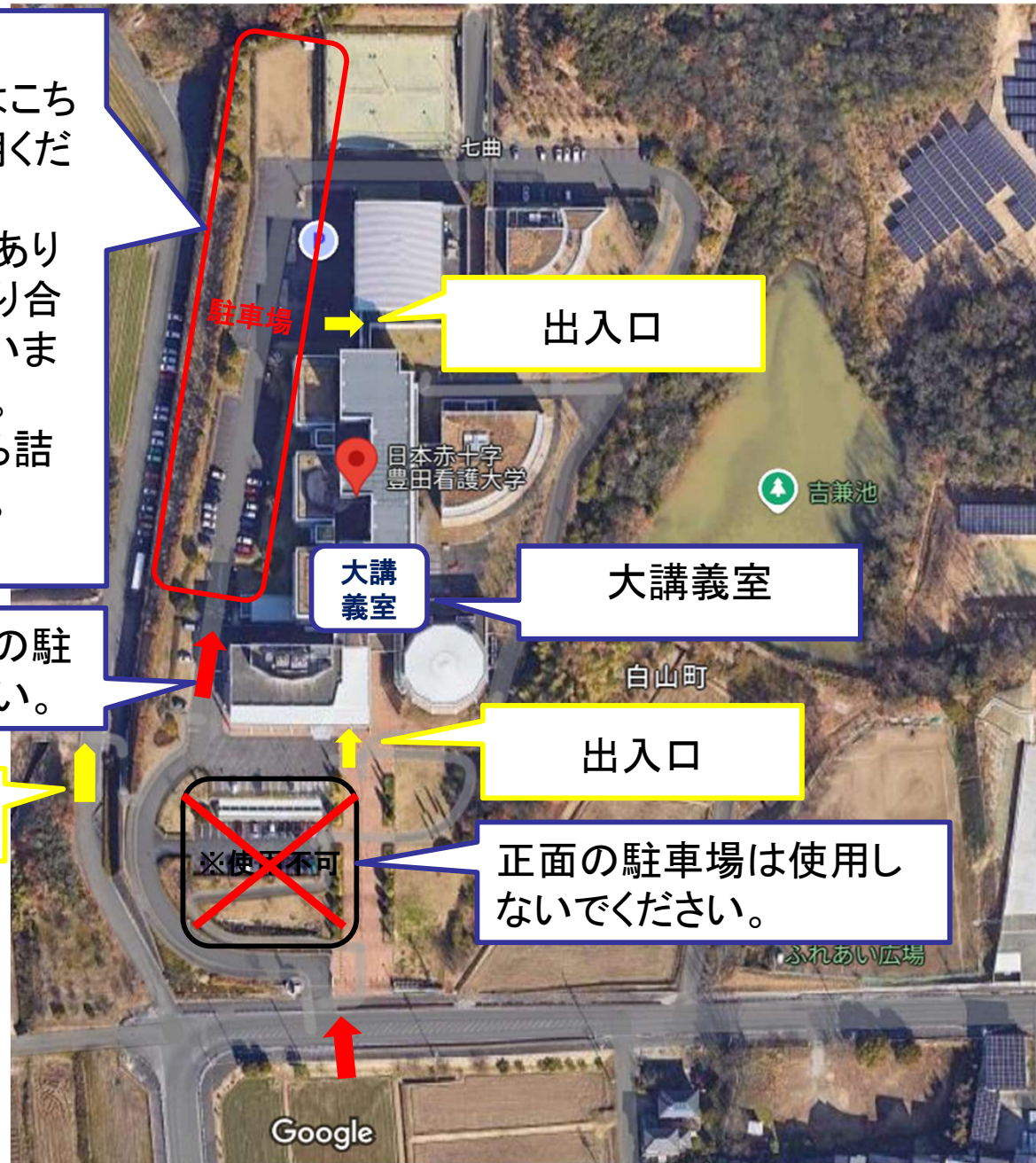
但し、台数に限りがありますのでなるべく乗り合わせてお越しくださいますようお願いいたします。
また、なるべく奥から詰めてご利用ください。

ゲートを通過して奥の駐車場にお進みください。

バス駐車場所

※使用不可

正面の駐車場は使用しないでください。



5. その他留意事項

(1) 服装、持ち物について

動きやすい服装でお越してください。また、避難所は土足厳禁なのでスリッパや靴を入れる袋は各自ご持参ください。

(2) 実働訓練終了後の見学希望について

実働訓練終了後の見学を希望される方は見学自由です。(事前連絡不要) 但し、昼食の準備はありませんので各自持参ください。

(3) 広報・取材について

当日は広報用の写真撮影を行います。また、取材が入る可能性があります。撮影不可の方は当日朝のミーティングでお申し出ください。

(4) 避難者・傷病者役の変更について

当日、個人の間で指定された役を変更しないようお願いします。

(5) 欠席・遅刻連絡について

当日の欠席・遅刻連絡は不要です。共に参加される方にご連絡のうえ、当日、避難所リーダー役の方にお伝えください。

(6) 中止連絡について

訓練当日当支部から事前にご連絡先をお伺いしております。
代表者あて連絡いたします。

5. その他留意事項

(6) 緊急連絡先等

緊急の場合は以下にご連絡ください。

※訓練想定等、訓練進行上お答えできないものもありますので、
予めご承知ください。

○10月25日(金) 17:00 まで

TEL: 052-971-1597 E-mail: jigyoku@aichi.jrc.or.jp

日本赤十字社愛知県支部 救護・講習課

○訓練当日 8:00以降

TEL: 090-3251-0163(公用携帯)

6. 最後に

- ・近年、大規模な自然災害が発生する中、平時の防災訓練の重要性は増しており、医療チームを始めとする訓練プレイヤーは真摯に訓練に取り組んでいます。
避難者・傷病者役ボランティアの皆さまにおいても、この訓練が実りあるものとなるようご協力お願いいたします。
- ・この訓練は地域における自助・共助・公助を高める総合訓練です。
参加される1人1人がこの訓練を通して、防災について今一度考える良い機会にしたいただきたく存じます。
- ・皆さま、当日はどうぞよろしくお願いいたします。



ハートちゃん